

平成27年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、学校活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域46項目からなり、「3 よい」「2 普通」「1 不十分」の3段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	6
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連絡	2



平成27年度の学校運営評価において、最も評価が高かったのは「III. 入学・卒業対策」であった。評価が高かった理由として、特別講演会の企画など学科の魅力を知っていただけるような独自の取り組みを行ったことや、平成27年度国家試験合格率が看護学科では97.5%、東洋医療学科では100%と全国平均を大きく上回ったこと、高い就職率を実現するために、面接や履歴書の指導に力を入れていることなどが考えられる。評価が低かったのは「VIII. 広報」と「VII. 教職員の育成」、「V. 管理運営・財政」であった。広報に関しては、学内のイベントでは参加者が満足する情報を発信できたが、学外への訴求が弱いことが評価の低い一因と考えられる。また、教職員の育成においては、教職員全体としては、高め合い、改善を図るといった意識を強く感じられるが、日常業務の煩雑さより、資質向上に努める時間を確保出来なかったことが原因だと考えられる。管理運営・財政においては防災訓練の実施、マニュアルの作成など緊急時に備えてはいるものの、災害時の備品整備についての意識が低いことが考えられる。今回の評価結果を踏まえ、今後更なる向上を目指し、教職員全体が更なる研鑽を積み、教育活動に取り組んでいきたいと考えている。